

## 資料編

## 第1節 市民等のニーズ

計画の改定に当たり、公共交通に対する市民や来訪者のニーズ、課題と感じている事項を把握するため、アンケート調査を実施しました。アンケート調査により把握した事項を整理します。

## 1.1 アンケート調査の概要

以下のアンケート調査を実施しました。

	市民	来訪者	特定世代 (子育て・高齢者)	障害者
対象	16歳以上の調布市内 在住者 ・対象者は無作為抽出 ・同一世帯1票を抽出	一都三県の在住者 ・WEB アンケートモニター ・公共交通で調布市に来訪 したことがある方	市の窓口及び関係施設の 利用者 ※新型コロナウイルス感染拡大 により、施設利用ができる代 替方法にて実施	調布市バリアフリー基本 構想策定に係る調査業務 におけるアンケート調査 結果から障害者の意見を 整理し把握
方法	郵送配布・郵送回収	WEB アンケート調査	施設等へのアンケート調 査票の配架, 回収箱設置	郵送配布・郵送回収 ※一部WEB アンケート・聞き取 り調査も含む
回収 票数	1,514/3,000 票	500 票	322/554 票	153/387 票
時期	令和3年3月26日～ 4月15日	令和3年4月23日～ 4月26日	令和3年5月10日～ 6月10日	令和2年12月7日～ 令和3年1月8日 ※Web アンケートは 令和3年1月20日ま で実施

## 1.2 市民アンケート調査

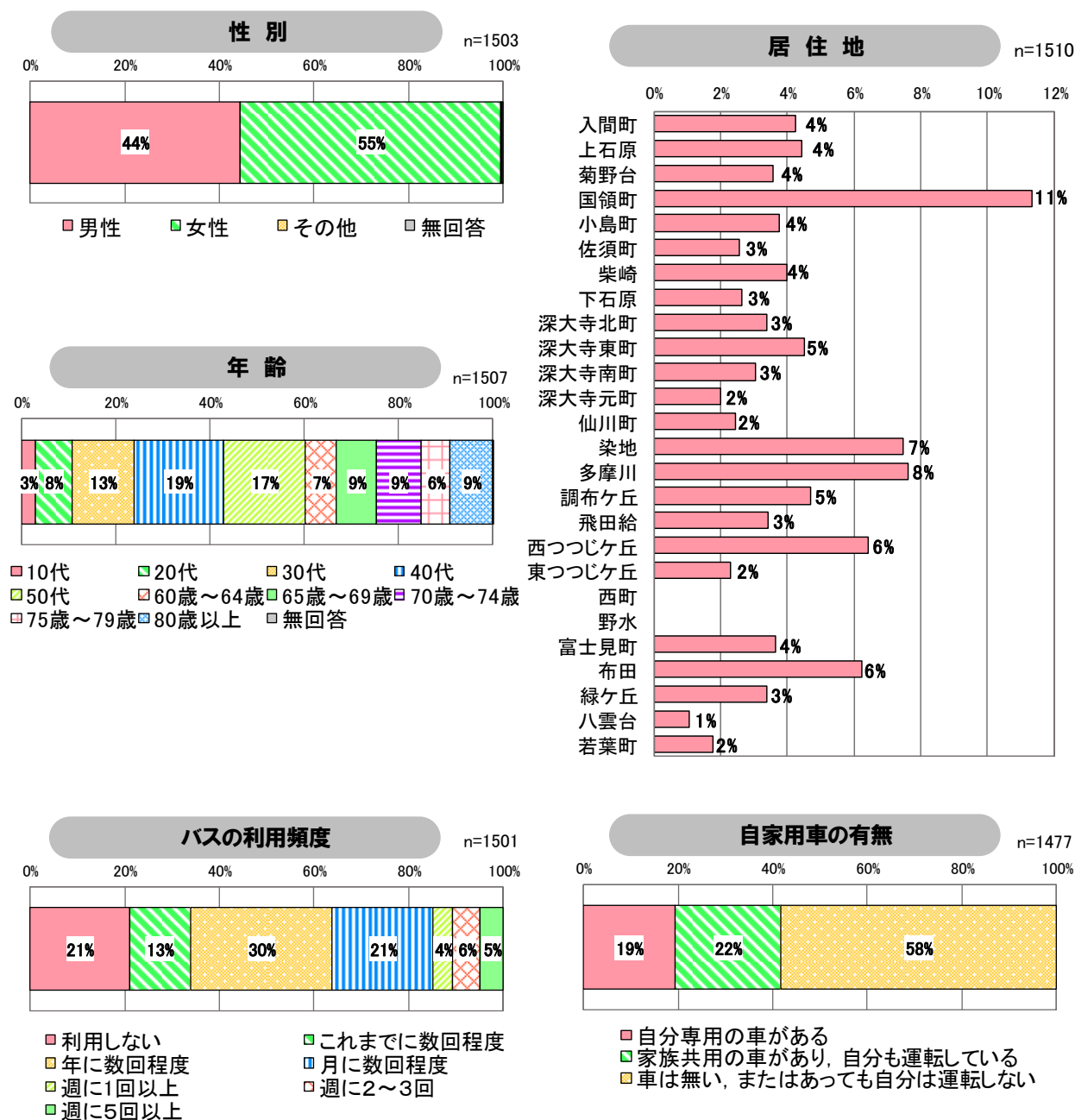
## (1) 回答者の属性

ア 性別は「男性」44%、「女性」55%で、年齢は「40代」の19%が最も多く、次いで「50代」の17%です。どの年代からも回答をいただけています。

イ 居住地では「国領町」の割合が高く、その他の地域も5%程度ずつの回答があります。

路線バス・ミニバスの利用頻度は「利用しない」が21%、「年に数回程度」まで合わせると60%以上となります。週に1回以上利用している方の割合は20%以下です。

ウ 車の利用状況は「車は無い、又はあっても利用しない」割合が58%です。

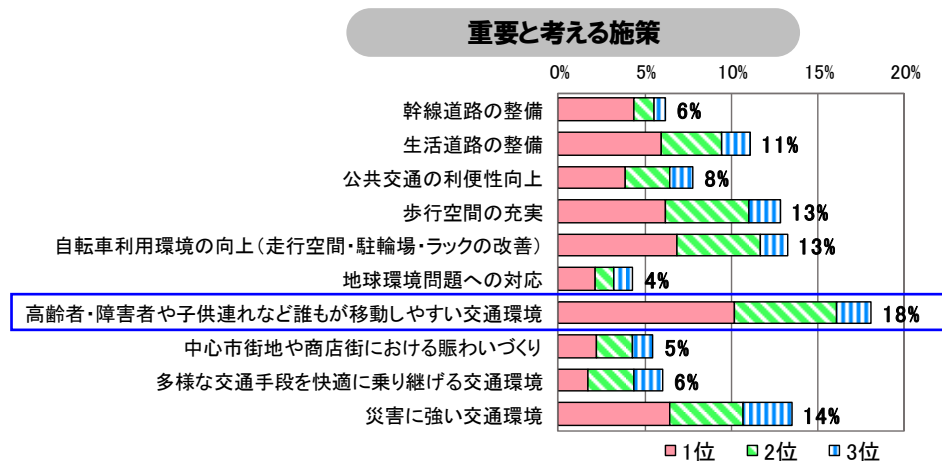


## (2) 交通政策に対する優先度

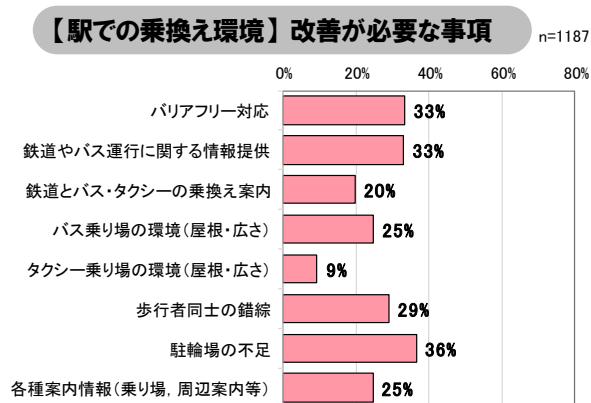
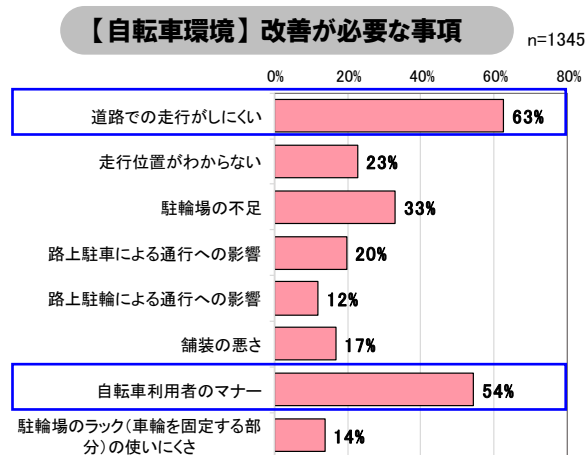
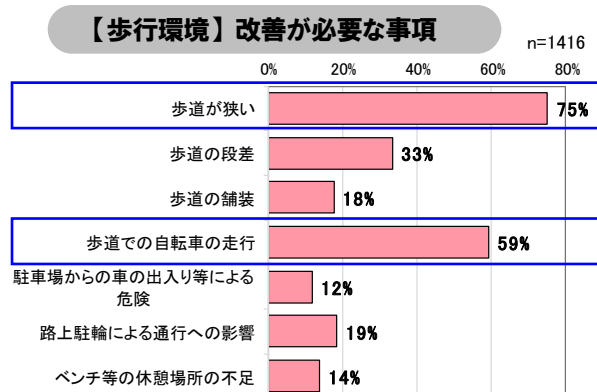
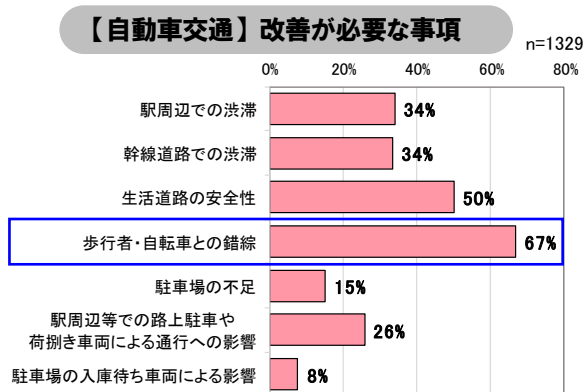
ア 「高齢者・障害者や子ども連れなどだれもが移動しやすい交通環境」を多くが望んでいます。

イ 鉄道駅等での施策と比較して、歩行環境及び自転車走行環境の確保が特に重要とされています。

ウ 自由意見については、歩道の改善や自転車走行環境の確保、自転車利用者のマナー改善等を求める意見が多くなっています。



※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合



## (3) バス交通に関する意見（路線バス）

ア 路線バスの各運行仕様に対する満足度は、不満が高い事項は少なく、最も不満が高いのは“10) バス停の快適性（ベンチ・上屋）”で30%です。乗継ぎの距離や定時性に対するは満足度が高くなっています。

イ 年数回以上バスを利用している人のみでみても、全体の傾向に大きな違いはなく、各項目の満足度・不満度は全体よりも高い傾向にあります。

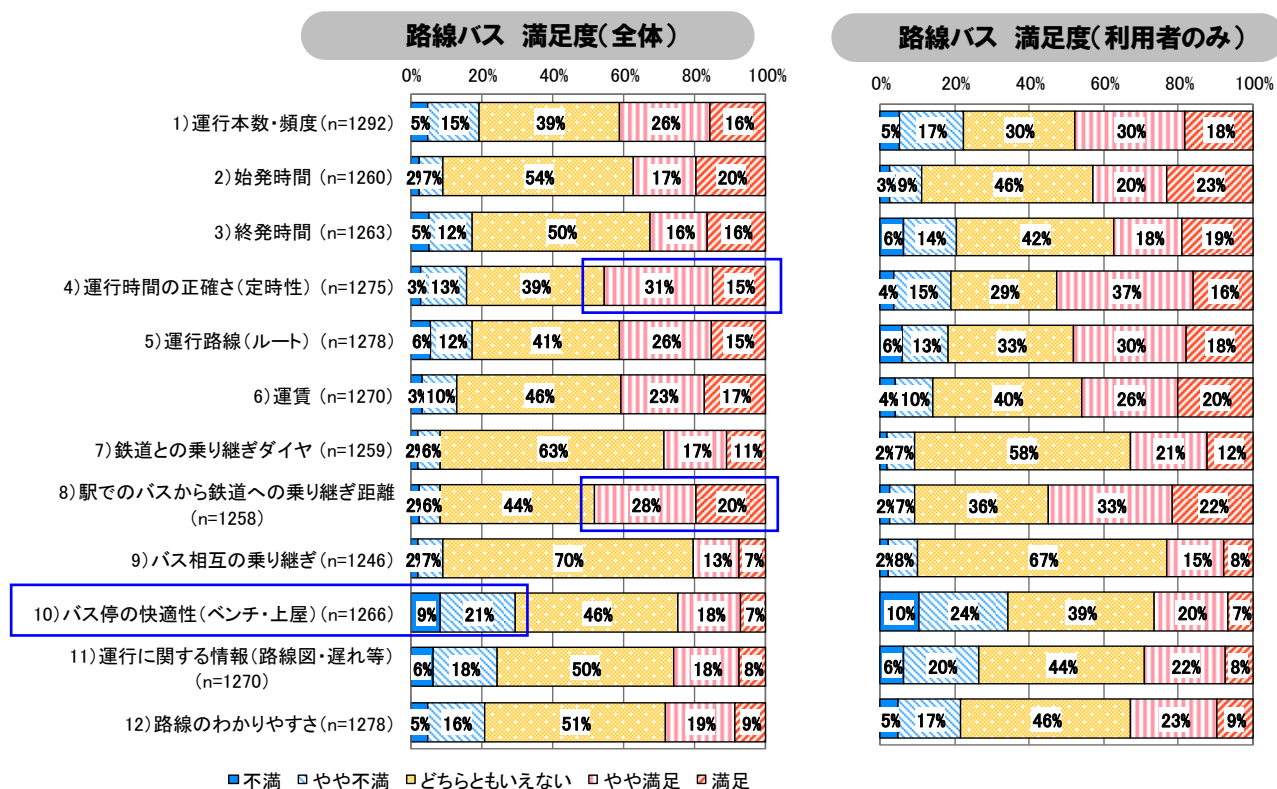
ウ 地域ごとでの課題をみると、以下のような状況がみられます。

(ア) 仙川ゾーン：駅とバス停との距離に対する不満度が高い

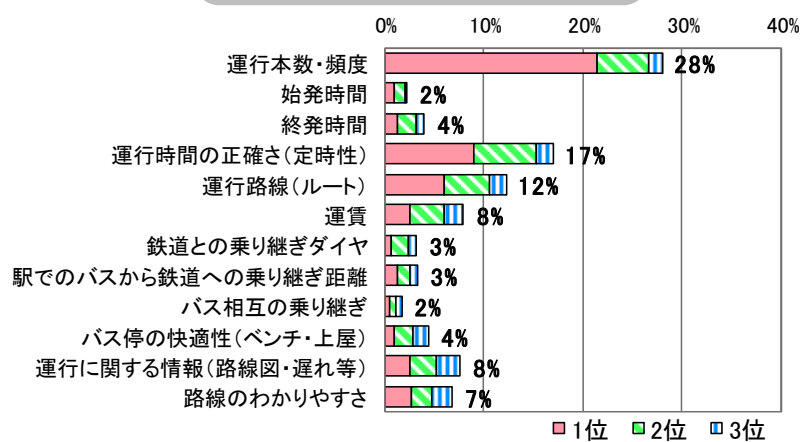
(イ) 深大寺ゾーン：定時性に対する満足度が低い

(ウ) 柴崎ゾーン：運行ルートに対する満足度が低い

エ 自由意見では、中央線や小田急線など鉄道路線と接続をする南北方向の路線を要望する意見が多くなっています。その他、柴崎駅への路線の接続や仙川駅でのバス停と駅前広場との距離について改善を求める意見があります。



## 路線バス 重要と思う事項



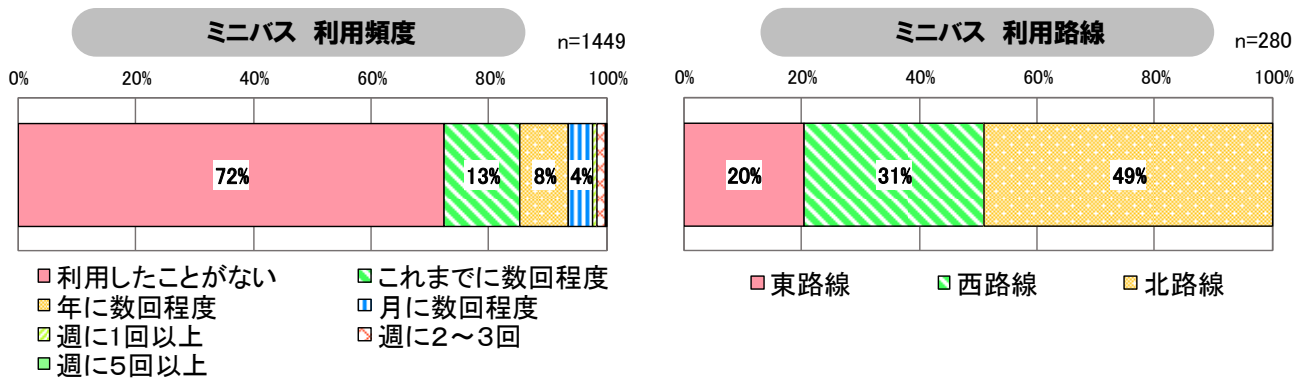
※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合

(3) バス交通に関する意見（ミニバス）

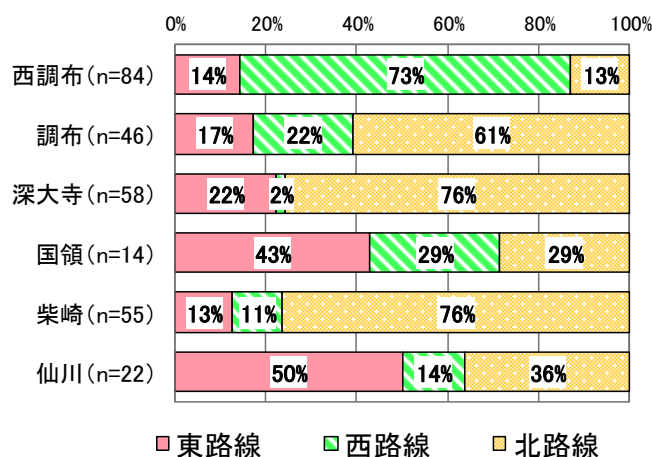
ア ミニバスの利用頻度は「利用したことがない」が72%と最も多くなっています。

イ 北路線の利用者が多く、北部地域の居住者以外も利用しています。

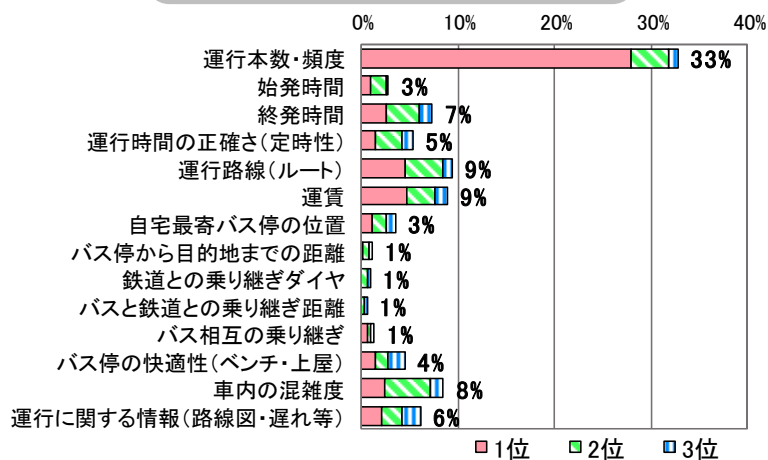
ウ 運行本数に対する重要度が最も高く他の項目と比較しても特に多くなっています。



**ミニバス 利用路線(居住地別)**



**ミニバス 改善してほしい事項**

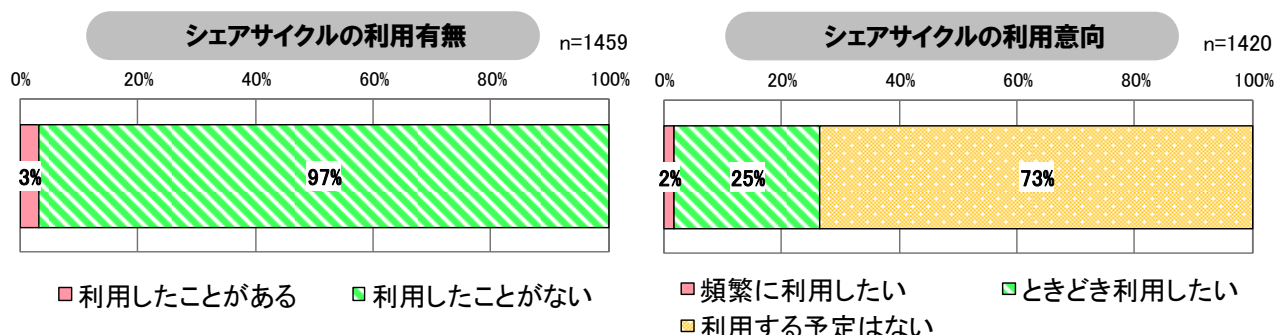


※1位：3点 2位：2点 3位：1点と得点を付加・総得点数に対する割合

## (4) 新たな施策について

ア シェアサイクルを利用したことがある割合は少なく、利用者の目的は自宅から目的地までの移動が多くなっています。

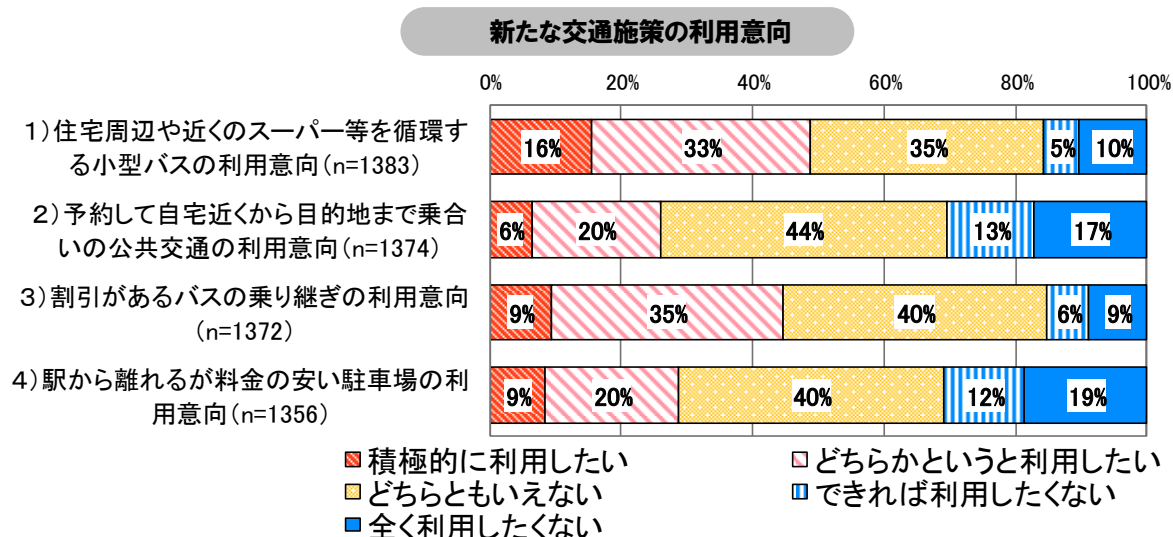
イ 今後の利用意向は、「ときどき利用したい」方を合わせて30%弱です。



ウ 新たな施策の利用意向では、“1) 住宅周辺や近くのスーパー等を循環する小型バス”，“3) 割引のあるバスの乗継ぎ”の利用意向が高くなっています。

エ 地域別に見ると、深大寺周辺では4) 駅から離れるが料金の安い駐車場の利用意向が他の地域に比べて高くなっています。

オ 年齢別に見ると、80歳以上では“1) 住宅周辺や近くのスーパー等を循環する小型バス”，若い世代では“4) 駅から離れるが料金の安い駐車場”の利用意向が高くなっています。



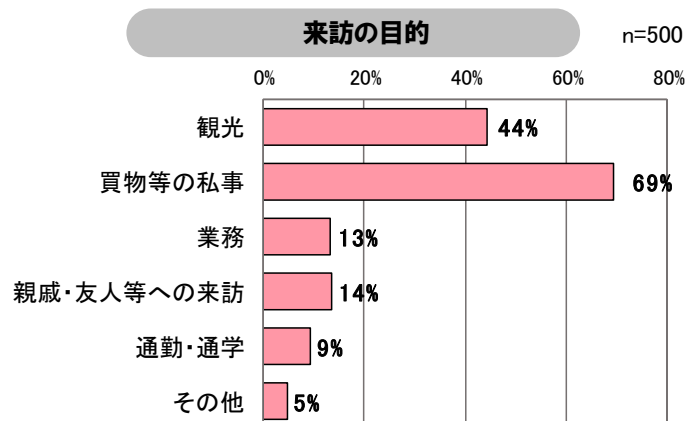
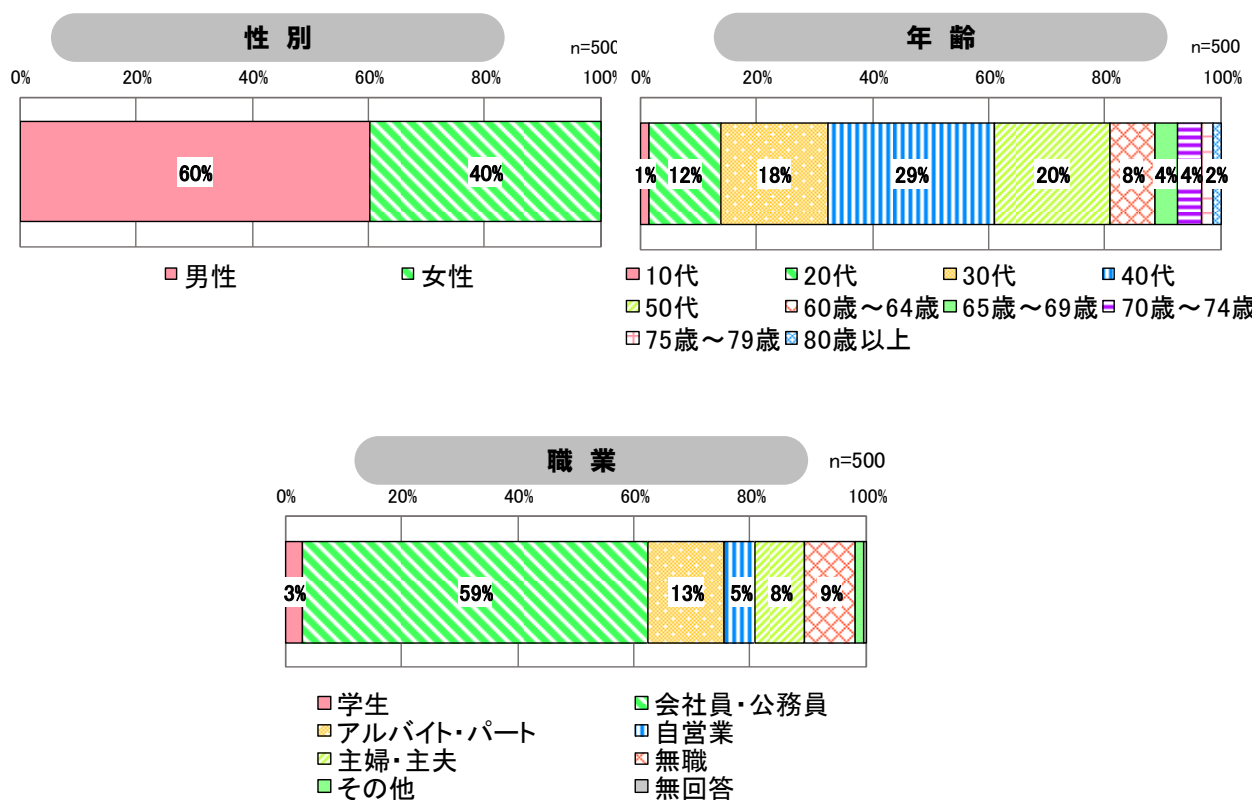
## 1.3 来訪者アンケート調査

## (1) 回答者の属性

ア 性別は「男性」60%、「女性」40%、年齢は「40代」の29%が最も多く、次いで、「50代」が20%です。どの年代からも回答をいただいています。

イ 職業は「会社員」の割合が高く、その他の職業も5%~10%程度の回答があります。

ウ 来訪の目的は「買い物等の私事」の69%が最も多くなっています。



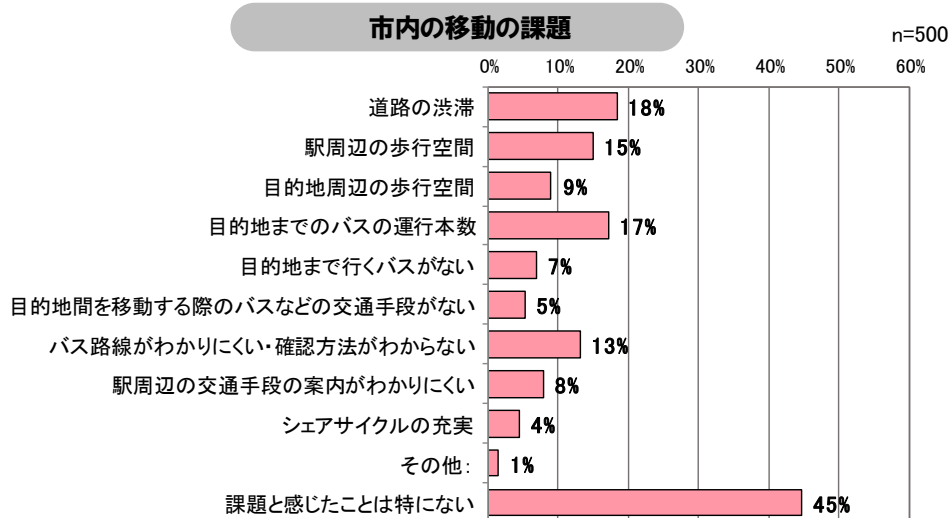
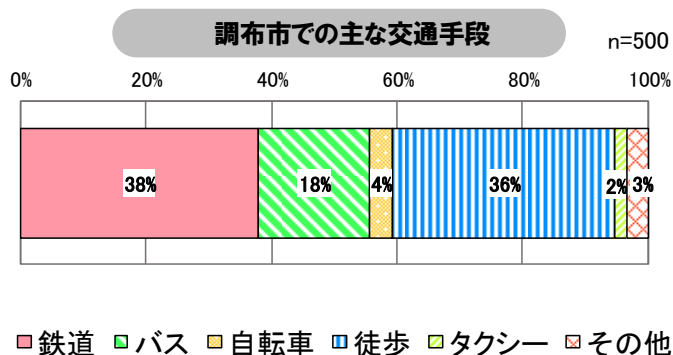


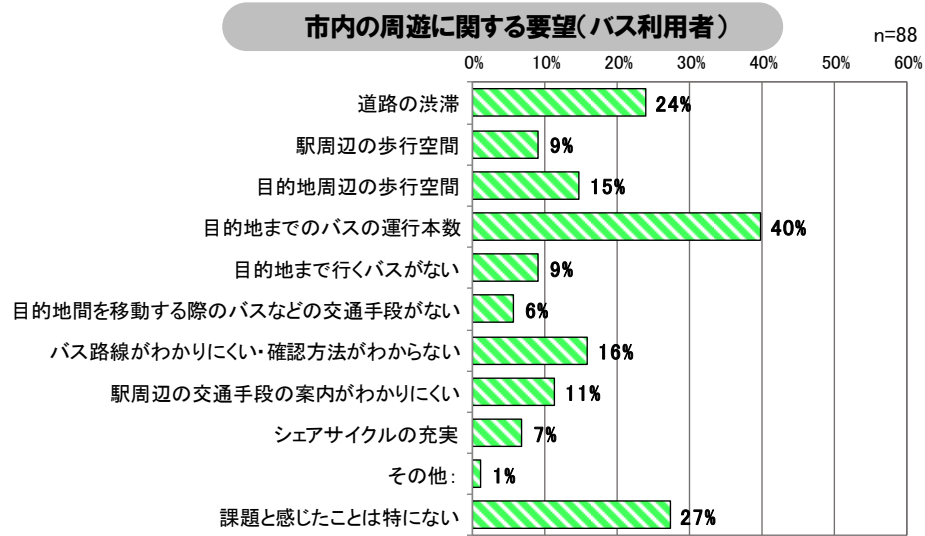
## (2) 調布市内での移動の課題

ア 調布市までの交通手段は鉄道が多く，市内での移動手段は鉄道を除くと「徒歩」，「バス」の順となっています。

イ 回答者全体では，移動時に「課題と感じたことは特にない」と回答した割合が約半数を占め，“道路の渋滞”や“目的地までのバス運行本数”では約20%となっています。

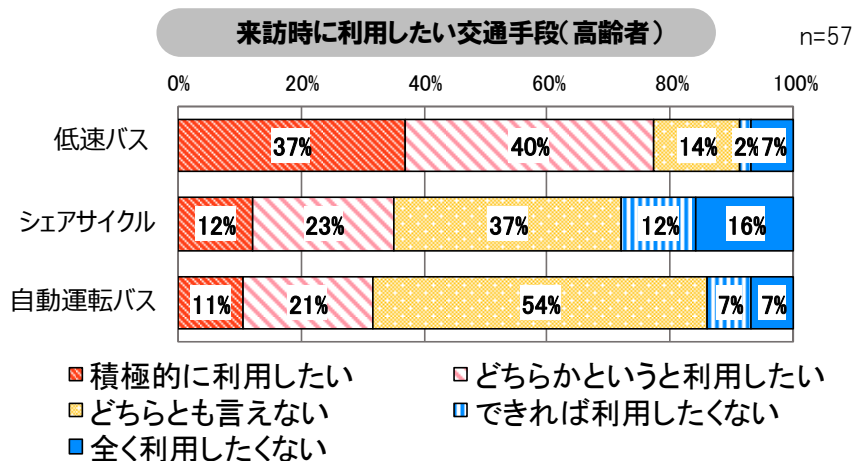
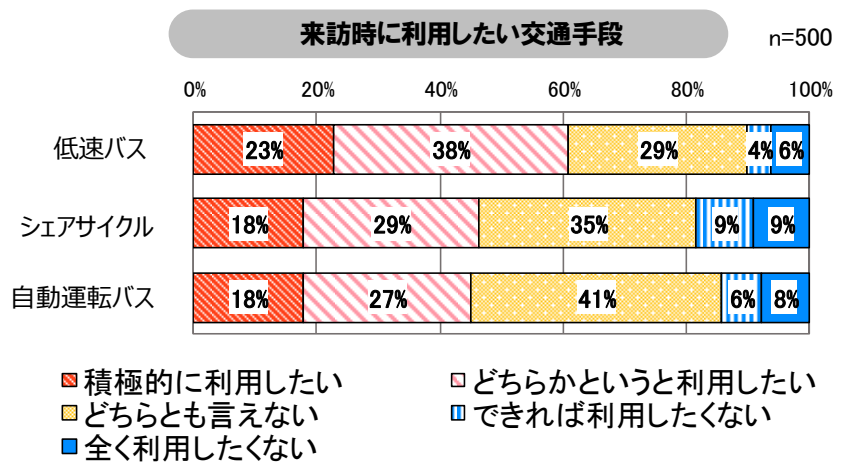
ウ 市内をバスで移動した方に限定してみると，“目的地までのバスの運行本数”との回答が40%，“道路の渋滞”と回答した割合が24%と高くなっています。





## (3) 新たな交通手段の利用意向

シェアサイクル、自動運転バスに比べて低速バスを利用したい意向が高く、特に、高齢者ではその割合が増加し、8割近くが利用したいと回答しています。



## 1.4 特定世代アンケート調査

子育て世代，高齢者世代を以下のとおり区分して集計しました。

なお，該当しない方の回答結果は全体にのみ含まれています。

子育て世代：40代以下及び50代にて子どもと同居している方（回答数118票）

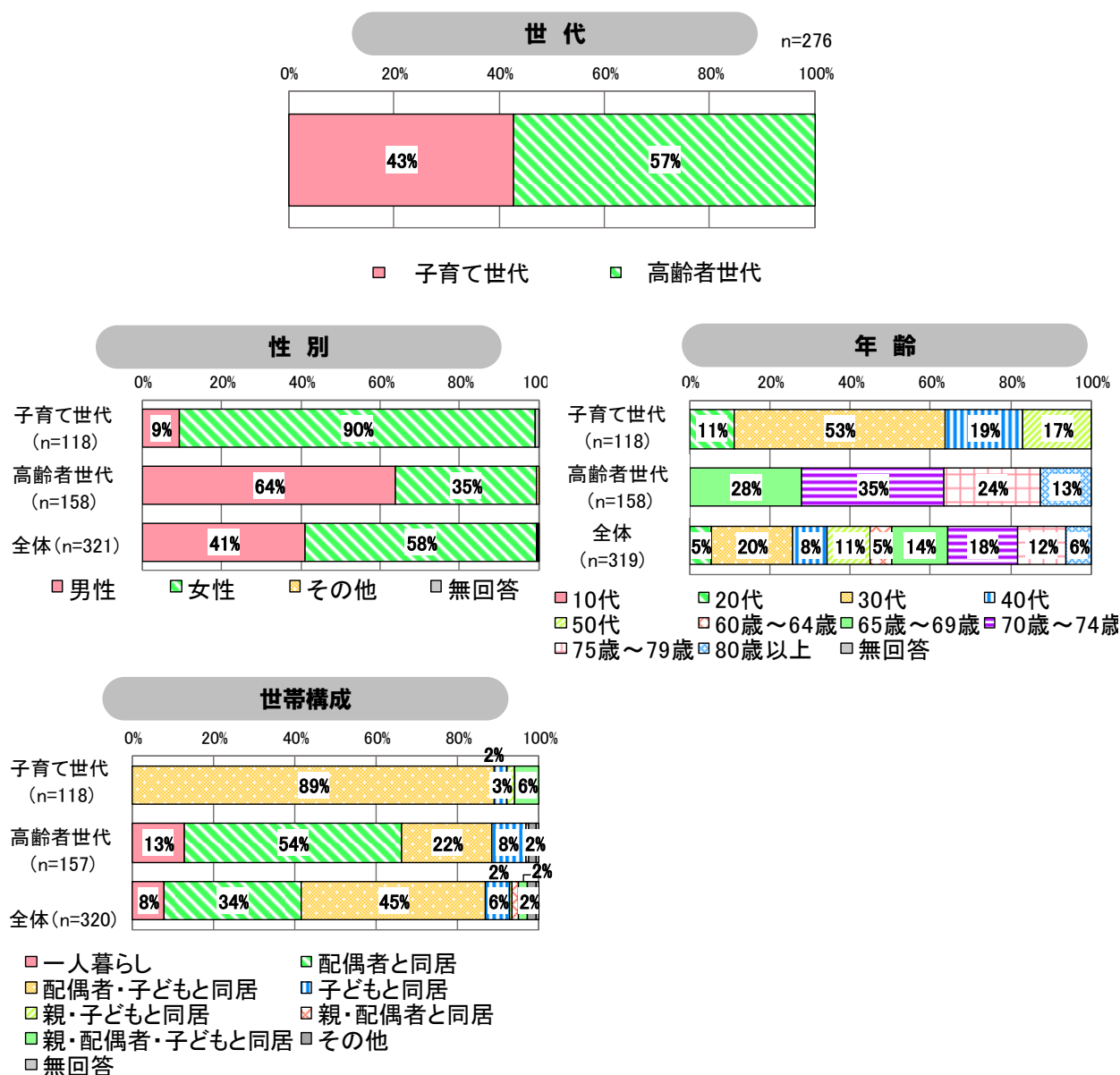
高齢者世代：65歳以上（回答数158票）

### (1) 回答者の属性

ア 子育て世代の回答者数は43%，高齢者世代の回答者数は57%です。性別は，子育て世代は女性が90%を占め，高齢者世代は男性が64%です。

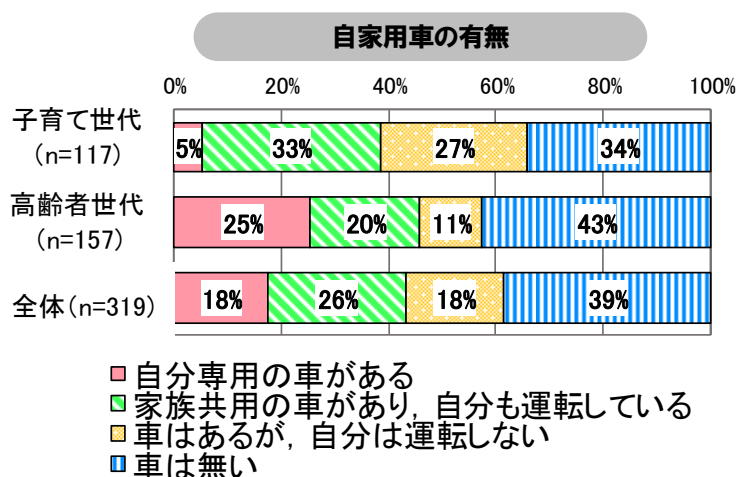
イ 子育て世代では「30代」が多く半数以上を占めています。高齢者世代では各年齢から回答を得ています。

ウ 世帯構成は，子育て世代では「配偶者・子どもと同居」が89%，高齢者世代では「配偶者と同居」が最も多く半数以上を占めています。

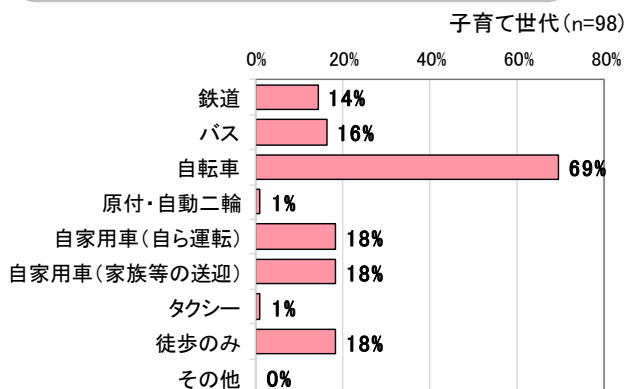


エ 自家用車の有無は、子育て世代では「車は無い」割合が高く、保有していても「家族共用の車」の割合が高くなっています。一方で、高齢者世代でも「車は無い」が43%と最も多くなっていますが、子育て世代に比べて「自分専用の車」を保有している割合が高くなっています。

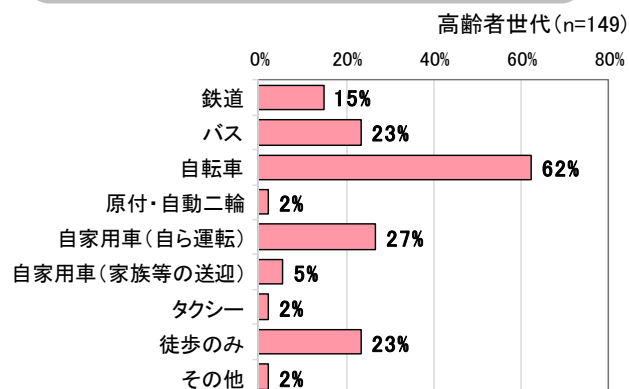
オ 買い物や移動の主な交通手段で最も多いものは、子育て世代と高齢者世代ともに「自転車」が約60%です。その他手段をみると、子育て世代では「自家用車（家族等の送迎）」が高齢者世代に比べて多く、他方、高齢者世代では「自家用車（自ら運転）」の割合が多くなっています。



#### 買い物や移動の主な交通手段(子育て世代)



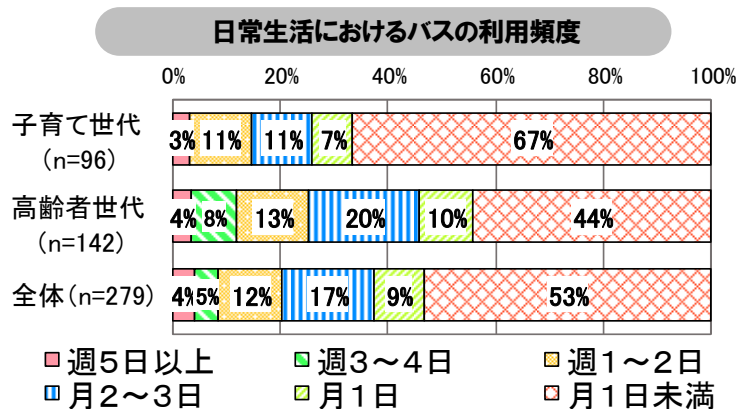
#### 買い物や移動の主な交通手段(高齢者世代)



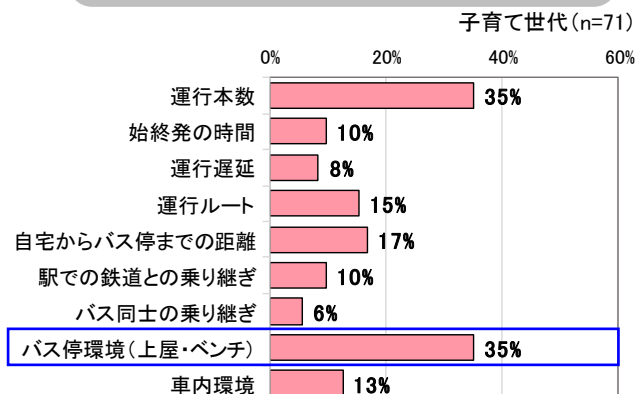
## (2) 公共交通に関する状況

ア バスの利用状況を見ると、市民アンケートの結果と比較して全体での利用割合が低く、特に子育て世代の回答者ではその傾向が大きくなっています。

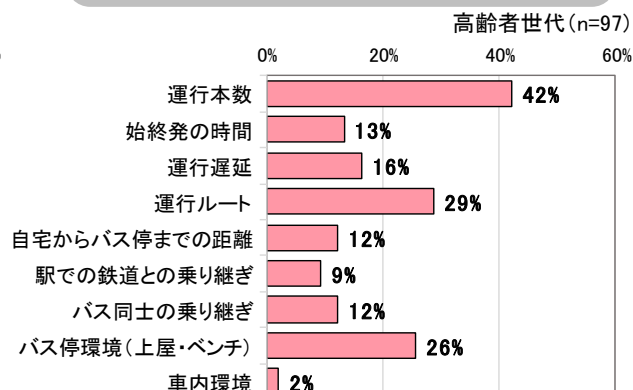
イ 公共交通環境に関する意見をみると、子育て世代、高齢者世代ともに、市民アンケートと比較してバス停環境（上屋・ベンチ）への要望割合が高い傾向にあります。



## 【公共交通】改善が必要な事項(子育て世代)



## 【公共交通】改善が必要な事項(高齢者世代)

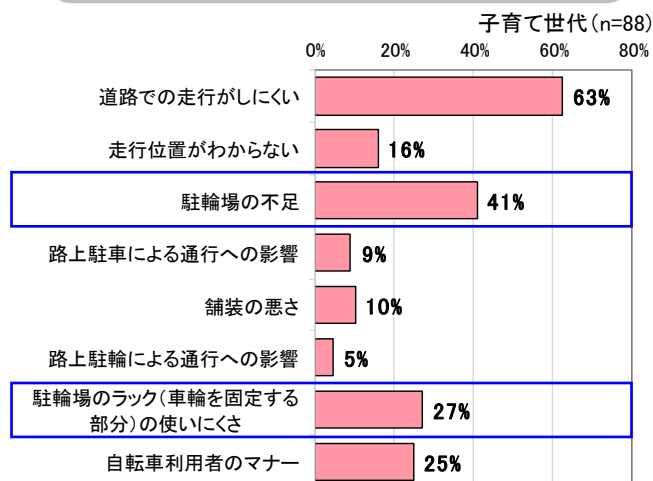


ウ 自転車環境で改善が必要と考える事項は、子育て世代と高齢者世代ともに「道路での走行がしにくい」の回答が多くなっています。

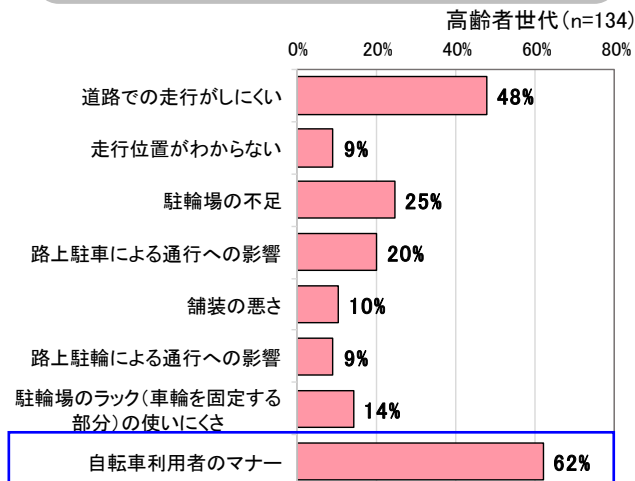
エ 「自転車利用者のマナー」と回答した方は子育て世代では25%ですが、高齢者世代では62%と差がみられます。

オ 子育て世代では高齢者世代や市民アンケートでの回答に比べて駐輪場の不足や駐輪場ラックの使いにくさに対する改善要望が高くなっています。

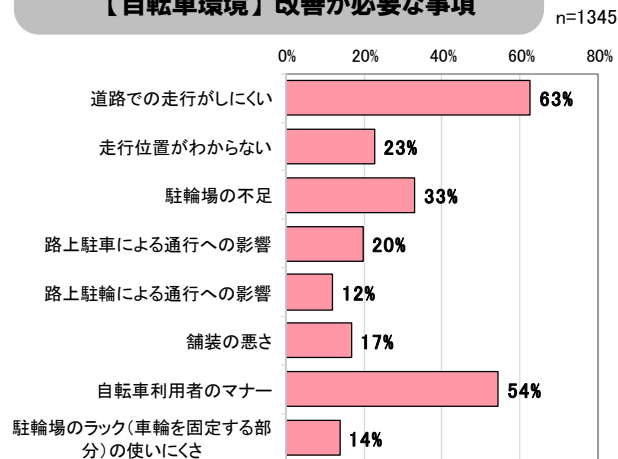
#### 【自転車環境】改善が必要な事項(子育て世代)



#### 【自転車環境】改善が必要な事項(高齢者世代)



#### 参考:市民アンケート 【自転車環境】改善が必要な事項



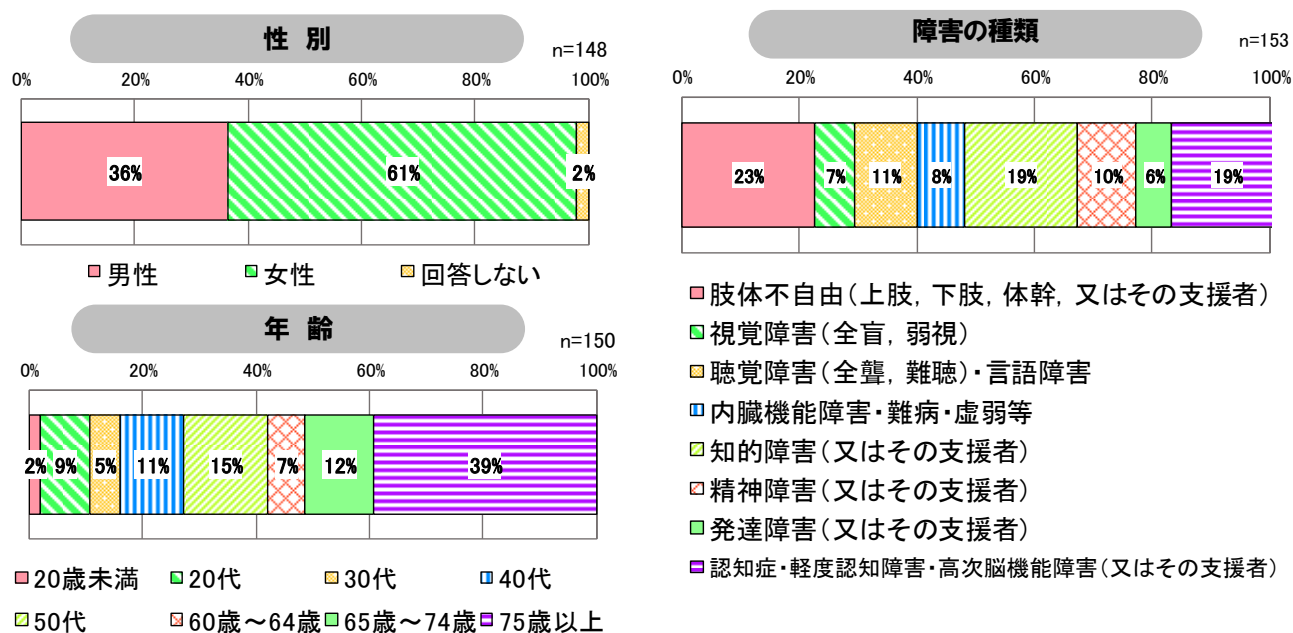
## 1.5 障害者アンケート調査

「調布市バリアフリー基本構想策定に係る調査業務」で実施したアンケート調査結果から障害者の意見を整理し把握しました。

### (1) 回答者の属性

ア 性別は「男性」36%、「女性」61%、年齢は「75歳以上」が39%と最も多く、次いで「50代」が15%ですが、どの年代からも回答をいただけています。

イ 障害の種類は「肢体不自由」が23%と最も多く、次いで、「知的障害」、「認知症・軽度認知障害・高次脳機能障害」が19%です。





## (2) 主な意見

交通に関する主な意見は次のとおりです。

項目	意見内容
バス交通	直通運行の要望。(つつじヶ丘駅～吉祥寺) バス停の段差やガードレールの位置の見直し。スロープ位置の明示。 点字ブロックの不足。(調布駅) コミュニティバスは車両が小さく着席や移動が不便。 コミュニティバスは振動が大きい。
タクシー	バリアフリー対応車両の増加。 駅からタクシー乗り場までの距離が長い。 運賃の割引。
駅前広場	調布駅では歩行距離が長く歩きにくい。 自転車が走行しており歩きにくい。自転車の走行を禁止や区分してもらいたい。 木陰等が少ない。
歩行環境	歩道の狭さや傾斜に対する意見。 無電柱化による歩道環境の改善。 点字ブロック等の不足。 舗装の波うちがあり移動しにくい。
交差点等	一部の信号において青点灯時間が短い。

## 第2節 成果指標の算出方法

- 1 ミニバスの利用者数  
調布市事務報告書（交通対策課）における「調布市ミニバス3路線利用人数」から引用
- 2 公共交通利用数  
東京都市圏パーソントリップ調査の結果から、調布市を発着するトリップのうち、代表交通手段が「鉄道」又は「バス」のトリップのトリップエンド数を合計して算出
- 3 公共交通分担率  
東京都市圏パーソントリップ調査の結果から、調布市を発着するトリップのうち、代表交通手段が「鉄道」又は「バス」のトリップのトリップエンド数を合計して算出
- 4 公共交通に対する満足度  
調布市市民意識調査結果における設問「あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいか」で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計して算出
- 5 バリアフリー特定事業計画における公共交通特定事業の完了率  
バリアフリー特定事業計画の公共交通特定事業において、継続事業を除く特定事業のうち、完了した特定事業の割合
- 6 自動車分担率（代表交通手段）  
東京都市圏パーソントリップ調査の結果から、調布市を発着するトリップのうち、代表交通手段が「自転車」のトリップのトリップエンド数で合計して算出
- 7 運輸部門CO<sub>2</sub>排出量  
オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」としてECOネット62で公表されている調布市における二酸化炭素排出量（運輸部門）を引用
- 8 自宅などから目的地まで円滑に移動ができる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合  
調布市市民意識調査結果における設問「自宅などから目的地まで円滑に移動ができる道路ネットワークが形成されていると感じているか」で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計して算出
- 9 バリアフリー特定事業計画における道路特定事業の完了率  
バリアフリー特定事業計画の道路特定事業において、継続事業を除く特定事業のうち、完了した特定事業の割合
- 10 歩行者空間の満足度  
調布市市民意識調査結果における設問「あなたは、普段利用する道路について通行しやすいと感じているか」で、徒歩の項目を「歩きやすい」又は「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.1 高齢者の外出率

調布市市民福祉ニーズ調査（高齢者）における設問「あなたは普段どのくらい外出しますか」で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に3～4日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」又は「人づきあいのためにときどき外出する」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.2 障害者の外出率

調布市市民福祉ニーズ調査（障害者（18歳以上））における設問「あなたは普段どのくらい外出しますか」で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に3～4日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」又は「人づきあいのためにときどき外出する」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.3 自転車走行空間の満足度

調布市市民意識調査における設問「あなたは、普段利用する道路について通行しやすいと感じているか」で自転車の項目を「走りやすい」又は「ある程度走りやすい」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.4 自転車走行空間の整備延長

計画改定時の現況値に、調布市自転車ネットワーク計画（平成30年11月策定）に定める優先整備路線（I期）で未整備の路線の延長と事業中の都市計画道路の整備延長を加えて算出

### 1.5 適切な自転車等駐車場の整備済駅数

調布市自転車等対策実施計画改定版（令和3年3月策定）で設定された自転車等駐車場設置必要量を満たす自転車等駐車場が整備された駅数を合計して算出

### 1.6 普段最も利用する駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合

調布市市民意識調査における設問「あなたは、その駅の周辺は利便性が高いと思いますか」で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.7 中心地市街地が魅力的と感じている市民の割合

調布市市民意識調査における設問「あなたは、中心市街地（調布・布田・国領）が魅力的な街であると思いますか」で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計して算出

### 1.8 中心地市街地歩行者通行量

東京都圏パーソントリップ調査結果から、調布市中心市街地に該当するゾーンにおけるトリップのうち、代表交通手段が「徒歩」のトリップのトリップエンド数を合計して算出